

対象校No. 721

注4

学校コード F123310106577

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

梶山女学園大学

外国語学部

国際教養学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人梶山女学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 カチョウ ヒラノタカユキ
課長・平野貴之

電話番号 052-781-4317(直通)

(夜間) 052-781-4317(直通)

e-mail soumuka@sugiyama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

外国語学部

<国際教養学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人梶山女学園

(2) 大 学 名

梶山女学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スギヤマ ヤスオ) 梶山 泰生 (令和4年4月)		
学 長	(クロダ ヨシヒコ) 黒田 由彦 (令和4年4月)		
学 部 長	(フジオカ アユミ) 藤岡 阿由未 (令和6年4月)		
学科長等	(タドコロ ミツオ) 田所 光男 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
外国語学部 国際教養学科 学士 (国際教養学)	文学関係	4 年	85 人	2年次 人 3年次 10 人 4年次 人	360 人	新規入学者を募集停止予定	【基礎となる学部等】国際コミュニケーション学部表現文化学科(令和6年度から第1年次学生募集停止)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	85 () []					
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	124 () []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	116 () []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	109 () []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	36 () []					
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		0.42					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	36 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	36 [－] (－)	－ [－] (－)	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	36 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要
<外国語学部 国際教養学科>
(1) -① 授業科目表
【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
全学共通科目			人間論	1前	2			2	1				13		
			小計(1科目)	-	2	0	0	2	1	0	0	0	13		
教養教育科目	領域1 思想と表現	哲学	1後		2								1		
		文学	1前後		2								2		
		芸術	1前		2								2		
		心理	1後		2		1						1		
		言語	1前後		2								2		
		人類学	1前		2								2		
	領域2 歴史と社会	歴史	1前		2								2		
		法	1後		2								2		
		日本国憲法	1前		2								1		
		経済	1前		2								2		
		社会	1前		2								2		
		地理	1前		2								2		
	領域3 自然と科学技術	教育	1前		2								2		
		物理の世界	1前後		2								2		
		化学の世界	1後		2								1		
		環境の科学	1前		2								1		
		地球の科学	1前後		2								2		
		生命の科学	1前後		2								1		
	領域4 数理と情報	数理の世界	1前		2								1		
		統計の世界	1前後		2								2		
		コンピュータと情報Ⅰ	1前	2									3		
		コンピュータと情報Ⅱ	1後		2								2		
	領域5 言語とコミュニケーション	外国語(英語A)	1前		1								4		
		外国語(英語B)	1後		1								4		
		外国語(英語C)	2前		1								4		
		外国語(英語D)	2後		1								4		
		外国語(ドイツ語Ⅰ)	1前		1								2		
		外国語(ドイツ語Ⅱ)	1後		1								2		
		外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1								1		
		外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1								1		
		外国語(中国語Ⅰ)	1前		1								2		
		外国語(中国語Ⅱ)	1後		1								2		
		外国語(ポルトガル語Ⅰ)	1前		1								1		
		外国語(ポルトガル語Ⅱ)	1後		1								1		
		外国語(スペイン語Ⅰ)	1前		1								1		
		外国語(スペイン語Ⅱ)	1後		1								1		
	領域6 健康とスポーツ	外国語(ハングルⅠ)	1前		1								1		
		外国語(ハングルⅡ)	1後		1								2		
		健康とスポーツの理論	1前		2								8		
		健康科学	1前		1								1		
	領域7 トータルライフデザイン	スポーツ実習A	1前後		1								2		
		スポーツ実習B	1前後		1								2		
		ファーストイヤーゼミ	1前	1			1	1	2				7		
		ジェンダー論入門	1前後		2								2		
	専門教育科目	学部共通科目	学部共通基礎 言語リテラシー科目A	生活と防災	1前		2							13	
				思考のスキル入門	1前後		2							2	
				AI・データと社会	1後		2							8	
				ワークキャリアデザイン	1前後		2							1	
				ビジネススキル入門	2前後		2							3	
				キャリア形成実習Ⅰ	2前後		1							1	
				キャリア形成実習Ⅱ	2前後		1							1	
小計(51科目)				-	3	77	0	1	1	2	0	0	99		
専門教育科目				学部共通科目	学部共通基礎 言語リテラシー科目A	地球市民論	1前	2				1			4
						Communicative EnglishⅠA	1前	1							7
	Communicative EnglishⅠB	1前	1									7			
	Communicative EnglishⅠC	1前	1									7			
	Communicative EnglishⅠD	1前	1									7			
	Communicative EnglishⅠE	1前	1									7			
	Communicative EnglishⅡA	1後	1									7			
	Communicative EnglishⅡB	1後	1									7			
	Communicative EnglishⅡC	1後	1									7			
	Communicative EnglishⅡD	1後	1									7			
Communicative EnglishⅡE	1後	1							7						

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学共通科目		人間論	1前	2			2	1				13
		小計(1科目)	-	2	0	0	2	1	0	0	0	13
教養教育科目	領域1 思想と表現	哲学	1後		2							1
		文学	1前後		2		1					1
		芸術	1前		2							2
		心理	1後		2		1					1
		言語	1前後		2							2
		人類学	1前		2							2
	領域2 歴史と社会	歴史	1前		2		1					1
		法	1後		2							2
		日本国憲法	1前		2							1
		経済	1前		2							1
		社会	1前		2							2
		地理	1前		2							2
	領域3 自然と科学技術	物理の世界	1前後		2							2
		化学の世界	1後		2							1
		環境の科学	1前		2							1
		地球の科学	1前後		2							2
		生命の科学	1前後		2							2
	領域4 数理と情報	数理の世界	1前		2							1
		統計の世界	1前後		2							2
		コンピュータと情報Ⅰ	1前	2								3
		コンピュータと情報Ⅱ	1後		2							2
	領域5 言語とコミュニケーション	外国語(英語A)	1前		1							4
		外国語(英語B)	1後		1							4
		外国語(英語C)	2前		1							3
		外国語(英語D)	2後		1							3
		外国語(ドイツ語Ⅰ)	1前		1							2
		外国語(ドイツ語Ⅱ)	1後		1							2
		外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1							1
		外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1							1
		外国語(中国語Ⅰ)	1前		1							2
		外国語(中国語Ⅱ)	1後		1							2
		外国語(ポルトガル語Ⅰ)	1前		1							1
		外国語(ポルトガル語Ⅱ)	1後		1							1
		外国語(スペイン語Ⅰ)	1前		1							1
		外国語(スペイン語Ⅱ)	1後		1							1
		外国語(ハングルⅠ)	1前		1							1
		外国語(ハングルⅡ)	1後		1							2
	領域6 健康とスポーツ	健康とスポーツの理論	1前		2							8
		健康科学	1前		1							1
		スポーツ実習A	1前後		1							2
		スポーツ実習B	1前後		1							2
	領域7 トータルライフデザイン	ファーストイヤーゼミ	1前	1			2	1	2			5
		ジェンダー論入門	1前後		2							2
		生活と防災	1前		2							13
		思考のスキル入門	1前後		2							2
		AI・データと社会	1後		2							8
		ワークキャリアデザイン	1前後		2							1
		ビジネススキル入門	2前後		2							3
		キャリア形成実習Ⅰ	2前後		1							1
		キャリア形成実習Ⅱ	2前後		1							1
		小計(51科目)		-	3	77	0	2	1	2	0	0
専門教育科目	学部共通基礎 言語リテラシー科目A	地球市民論	1前	2			1		1			3
		Communicative EnglishⅠA	1前	1								7
		Communicative EnglishⅠB	1前	1								7
		Communicative EnglishⅠC	1前	1								7
		Communicative EnglishⅠD	1前	1								7
		Communicative EnglishⅠE	1前	1								7
		Communicative EnglishⅡA	1後	1								7
		Communicative EnglishⅡB	1後	1								7
		Communicative EnglishⅡC	1後	1								7
		Communicative EnglishⅡD	1後	1								7
		Communicative EnglishⅡE	1後	1								7

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専門 教育 科目	学部 共通 科目	学部 共通 基礎	言語リテラシー 科目B	ドイツ語ⅠA	1後	1							2		
				ドイツ語ⅠB	1後	1							1		
				ドイツ語ⅠC	1後	1							2		
				ドイツ語ⅡA	2前	1							2		
				ドイツ語ⅡB	2前	1							1		
				ドイツ語ⅡC	2前	1							2		
				フランス語ⅠA	1後	1							3		
				フランス語ⅠB	1後	1							4		
				フランス語ⅠC	1後	1							2		
				フランス語ⅡA	2前	1							3		
				フランス語ⅡB	2前	1							4		
				フランス語ⅡC	2前	1							2		
				中国語ⅠA	1後	1							5		
				中国語ⅠB	1後	1		1					4		
				中国語ⅠC	1後	1		1	1				4		
				中国語ⅡA	2前	1		1	1				4		
				中国語ⅡB	2前	1		1	1				4		
				中国語ⅡC	2前	1		1	1				4		
				言語リテラシー 科目C	TOEIC 500Ⅰ	1前	2							1	
					TOEIC 500Ⅱ	1後	2							1	
			TOEIC 600Ⅰ		1前	2							1		
			TOEIC 600Ⅱ		1後	2							1		
			TOEIC 700Ⅰ		1前	2							1		
			TOEIC 700Ⅱ		1後	2							1		
			TOEIC 800+		1前	2							1		
			IELTSⅠ		1前	2							1		
			IELTSⅡ		1後	2							1		
			TOEFL iBTⅠ		1前	2							1		
			TOEFL iBTⅡ		1後	2							1		
			資格ドイツ語Ⅰ		2後	2							1		
			資格ドイツ語Ⅱ		3前	2							1		
			資格ドイツ語Ⅲ		3後	2							1		
			資格フランス語Ⅰ		2後	2							1		
			資格フランス語Ⅱ		3前	2							1		
			資格フランス語Ⅲ		3後	2							1		
			資格中国語Ⅰ		2後	2							2		
			資格中国語Ⅱ		3前	2							1		
			資格中国語Ⅲ		3後	2							1		
			日本手話Ⅰ	2前	2							2			
			日本手話Ⅱ	2後	2							2			
			言語アカデミック 実践科目	言語アカデミック実践演習A	3前	1			3	2	2			13	
				言語アカデミック実践演習B	3後	1			3	2	2			13	
			小計(53科目)				14	62	0	3	2	2	0	0	55
			学部 共通 専門	グローバル 科目	グローバル化・エシックス	1後	2								1
					グローバル・エシックス	1前	2								1
					グローバル・エシックス	1前	2								1
				コミュニケー ション 科目	異文化コミュニケーション論	1後	2								1
					言語の機能	1前	2								1
					記号とコミュニケーション	1後	2								1
				多元文化 科目	多元文化論A	1後	2								1
					多元文化論B	1前	2								1
					多元文化論C	1前	2								1
				海外文化 研修 プログラム	海外文化研修プログラムA	1後	16								1
海外文化研修プログラムB	1後	4										1			
海外文化研修プログラムC	1前	2										1			
Special Topics in English A	2前	2										1			
Special Topics in English B	2後	2				1						1			
Special Topics in German	2後	2										1			
Special Topics in French	2後	2									1				
Special Topics in Chinese	2後	2					1								

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専門教育科目	学部共通科目	学部共通基礎	言語リテラシー科目B	ドイツ語ⅠA	1後	1							2		
				ドイツ語ⅠB	1後	1							1		
				ドイツ語ⅠC	1後	1							2		
				ドイツ語ⅡA	2前	1							2		
				ドイツ語ⅡB	2前	1							1		
				ドイツ語ⅡC	2前	1							2		
				フランス語ⅠA	1後	1							3		
				フランス語ⅠB	1後	1							4		
				フランス語ⅠC	1後	1							2		
				フランス語ⅡA	2前	1							3		
				フランス語ⅡB	2前	1							4		
				フランス語ⅡC	2前	1							2		
				中国語ⅠA	1後	1							5		
				中国語ⅠB	1後	1		1					4		
				中国語ⅠC	1後	1		1					4		
				中国語ⅡA	2前	1		1					4		
				中国語ⅡB	2前	1		1					4		
				中国語ⅡC	2前	1		1					4		
				言語リテラシー科目C	TOEIC 500Ⅰ	1前	2							1	
					TOEIC 500Ⅱ	1後	2							1	
			TOEIC 600Ⅰ		1前	2							1		
			TOEIC 600Ⅱ		1後	2							1		
			TOEIC 700Ⅰ		1前	2							1		
			TOEIC 700Ⅱ		1後	2							1		
			TOEIC 800+		1前	2							1		
			IELTSⅠ		1前	2							1		
			IELTSⅡ		1後	2							1		
			TOEFL iBTⅠ		1前	2							1		
			TOEFL iBTⅡ		1後	2							1		
			資格ドイツ語Ⅰ		2後	2							1		
			資格ドイツ語Ⅱ		3前	2							1		
			資格ドイツ語Ⅲ		3後	2							1		
			資格フランス語Ⅰ		2後	2							1		
			資格フランス語Ⅱ		3前	2							1		
			資格フランス語Ⅲ		3後	2							1		
			資格中国語Ⅰ		2後	2							2		
			資格中国語Ⅱ		3前	2							1		
			資格中国語Ⅲ		3後	2							1		
			日本手話Ⅰ	2前	2							2			
			日本手話Ⅱ	2後	2							2			
			言語アカデミック実践科目	言語アカデミック実践演習A	3前	1			3	2	2		12		
				言語アカデミック実践演習B	3後	1			3	2	2		12		
			小計(53科目)				14	62	0	3	2	2	0	0	54
			学部共通専門	グローバル化科目	グローバルイゼーション論	1後	2								1
					グローバル・エシックス	1前	2		1						
					グローバル・ヒストリー	1前	2		1						
				コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション論	1後	2								1
					言語の機能	1前									1
					記号とコミュニケーション	1後	2								1
				多元文化科目	多元文化論A	1後	2		1						
					多元文化論B	1前	2								1
					多元文化論C	1前	2								1
				海外文化研修プログラム	海外文化研修プログラムA	1後	16		1						
海外文化研修プログラムB	1後	4				1									
海外文化研修プログラムC	1前	2				1									
Special Topics in English A	2前	2										1			
Special Topics in English B	2後	2				1									
Special Topics in German	2後	2										1			
Special Topics in French	2後	2								1					
Special Topics in Chinese	2後	2					1								

科目 区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 科 目	学 部 共 通 専 門 科 目	国 際 キ ャ リ ア ア リ ア 科 目	国際キャリアデザインA	1前		2							1
				国際キャリアデザインB	1後		2							1
				国際キャリアデザインC	1後		2							1
				国際キャリアデザインD	1前		2							1
				国際キャリアデザインE	1前		2							1
				国際キャリアデザインF	1後		2							1
				国際キャリアデザインG	1後		2							1
				社会関与プロジェクトA	1前		2							1
				社会関与プロジェクトB	1前		2							1
				社会関与プロジェクトC	1後		2		1					
				社会関与プロジェクトD	1後		2		1					
				社会関与プロジェクトE	1前		2							1
				社会関与プロジェクトF	1後		2							1
				小計(30科目)		0	76	0	5	0	0	0	0	16
	学 科 共 通 科 目	学 科 共 通 基 礎	外 国 語 科 目	国際教養研究基礎	1前	2								1
				ドイツ語コミュニケーションⅠ	2前		1							1
				ドイツ語コミュニケーションⅡ	2後		1							1
				ドイツ語ⅢA	2後		1							1
				ドイツ語ⅢB	2後		1							1
				ドイツ語ⅢC	2後		1							1
				ドイツ語ⅣA	3前		1							1
				ドイツ語ⅣB	3後		1							1
				フランス語コミュニケーションⅠ	2前		1						2	
				フランス語コミュニケーションⅡ	2後		1							1
				フランス語ⅢA	2後		1		1					
				フランス語ⅢB	2後		1							1
				フランス語ⅢC	2後		1							1
				フランス語ⅣA	3前		1							1
				フランス語ⅣB	3後		1		1					
				中国語コミュニケーションⅠ	2前		1						2	
				中国語コミュニケーションⅡ	2後		1			1				1
				中国語ⅢA	2後		1		1					1
				中国語ⅢB	2後		1						2	
				中国語ⅢC	2後		1						2	
				中国語ⅣA	3前		1		1					
				中国語ⅣB	3後		1						1	
				英語文献読解(日本論)A	2後		2			1				
				英語文献読解(日本論)B	2後		2							1
				Active English A	2前		1							1
				Active English B	2後		1							1
				English for Academic Purposes Project and Research	3前		2							1
				Advanced English A	3前		1							1
				Advanced English B	3前		1							1
				Advanced English C	3後		1							1
				Advanced English D	3後		1							1
	学 科 共 通 専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	比較文学概論	1前		2							1
				漢字文化圏概論	1前		2		1					
				世界哲学史	1後		2							1
				東西交流史	1後		2		1					
		ヨ ー ロ ッ パ 専 門 科 目	ヨ ー ロ ッ パ 専 門 科 目	ヨーロッパ研究入門	1後		2							1
				世界の中のヨーロッパ	2前		2							1
				多元文化論(ヨーロッパ)A	2前		2							1
				多元文化論(ヨーロッパ)B	3前		2							1
				現代ヨーロッパ社会論	2後		2							1
				西洋芸術論	2前		2		1					
				イギリスの歴史	2後		2							1
				イギリス文学	2前		2							1
				イギリス文化論	2前		2							1
				現代思想論	3前		2							1
				ドイツの思想と文学	3後		2							1
				フランスの思想と文学	3前		2		1					
				翻訳論	3後		2		1					
		ア ジ ア 専 門 科 目	ア ジ ア 専 門 科 目	アジア研究入門	1後		2		1					
				アジア交流論	2前		2		1					
				中国の歴史	2前		2			1				
				世界の中の中国	2前		2			1				

科目 区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担			
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 科 目	学 部 共 通 専 門 科 目	国 際 キ ャ リ ア 科 目	国際キャリアデザインA	1前		2							1			
				国際キャリアデザインB	1後		2							1			
				国際キャリアデザインC	1後		2							1			
				国際キャリアデザインD	1前		2							1			
				国際キャリアデザインE	1前		2		1								
				国際キャリアデザインF	1後		2							1			
				国際キャリアデザインG	1後		2							1			
				社会関与プロジェクトA	1前		2							2			
				社会関与プロジェクトB	1前		2							1			
				社会関与プロジェクトC	1後		2		1								
				社会関与プロジェクトD	1後		2		1								
				社会関与プロジェクトE	1前		2							1			
				社会関与プロジェクトF	1後		2							1			
				小計(30科目)					0	76	0	5	0	0	0	0	16
	専 門 教 育 科 目	学 科 共 通 基 礎	外 国 語 科 目	国際教養研究基礎	1前	2				1							
				ドイツ語コミュニケーションⅠ	2前		1								1		
				ドイツ語コミュニケーションⅡ	2後		1								1		
				ドイツ語ⅢA	2後		1								1		
				ドイツ語ⅢB	2後		1								1		
				ドイツ語ⅢC	2後		1								1		
				ドイツ語ⅣA	3前		1								1		
				ドイツ語ⅣB	3後		1								1		
				フランス語コミュニケーションⅠ	2前		1								2		
				フランス語コミュニケーションⅡ	2後		1								1		
				フランス語ⅢA	2後		1			1					1		
				フランス語ⅢB	2後		1								1		
				フランス語ⅢC	2後		1								1		
				フランス語ⅣA	3前		1								1		
				フランス語ⅣB	3後		1			1							
				中国語コミュニケーションⅠ	2前		1						1		2		
				中国語コミュニケーションⅡ	2後		1								1		
				中国語ⅢA	2後		1			1					1		
				中国語ⅢB	2後		1								2		
				中国語ⅢC	2後		1								2		
				中国語ⅣA	3前		1			1							
				中国語ⅣB	3後		1								1		
				英語文献読解(日本論)A	2後		2					1					
				英語文献読解(日本論)B	2後		2								1		
				Active English A	2前		1								1		
				Active English B	2後		1								1		
				English for Academic Purposes Project and Research	3前		2								1		
				Advanced English A	3前		1								1		
				Advanced English B	3前		1								1		
				Advanced English C	3後		1								1		
				Advanced English D	3後		1								1		
				学 科 共 通 専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	比較文学概論	1前		2		1					
							漢字文化圏概論	1前		2			1				
							世界哲学史	1後		2		1					
		東西交流史	1後					2			1						
		ヨ ー ロ ッ パ 専 門 科 目	ヨーロッパ研究入門		1後		2		1								
世界の中のヨーロッパ			2前			2								1			
多元文化論(ヨーロッパ)A			2前			2								1			
多元文化論(ヨーロッパ)B			2前			2								1			
現代ヨーロッパ社会論			3後			2								1			
西洋芸術論			2前			2			1								
イギリスの歴史			2後			2							1				
イギリス文学			2前			2							1				
ア ジ ア 専 門 科 目		イギリス文化論	2前		2							1					
		現代思想論	3前		2							1					
		ドイツの思想と文学	3後		2							1					
	フランスの思想と文学	3前		2			1										
翻訳論				3後		2		1									

科目 区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	学 科 共 通 科 目	学 科 共 通 専 門 科 目	東洋思想	2後		2			1							
			現代中国論	2前		2				1						
			植民帝国論	2後		2								1		
			多元文化論(アジア)A	3後		2								1		
			多元文化論(アジア)B	3後		2				1						
			多元文化論(アジア)C	3前		2				1						
			東洋文化論	3前		2		1								
			中国文学	3後		2			1							
			国際日本専門科目	国際日本研究入門	1後		2									1
				アジアの中の日本	2前		2			1						
				世界の中の日本	2後		2									1
				日本の歴史	2前		2									1
				現代日本論	2後		2									1
				比較日文学	2前		2					1				
				Japanese Literature	2前		2			1						
				比較芸術論	2後		2			1						
				Minority Studies	3前		2			1						
				クロスカルチュラルスタディーズ	3後		2									1
				多元文化論(日本)A	3後		2						1			
				多元文化論(日本)B	3後		2									1
				多元文化論(日本)C	3前		2			1						
				多元文化論(日本)D	3後		2			1						
				Japanese Traditional Culture	3前		2									1
				Japanese Contemporary Culture	3後		2			1						
				Translation Studies	3後		2			1						
				日本語実践演習A	2後		2			1						
				日本語実践演習B	3前		2			1						
				演習 国際 教養 科目	国際教養研究A	3前	2				3	2	2			
			国際教養研究B		3後	2				3	2	2				3
			卒業研究A		4前	2				3	2	2				3
			卒業研究B		4後	2				3	2	2				3
			小計(83科目)					10	129	0	4	2	2	0	0	28
合計(211科目)					-	29	344	0	4	2	2	0	0	146		
卒業要件及び履修方法																
全学共通科目「人間論」2単位、教養教育科目「領域1～7」17単位、専門教育科目「学部共通科目」44単位(「学部共通基礎」28単位、「学部共通専門」16単位)、「学科共通科目」45単位(「学科共通基礎」7単位、学科共通専門38単位)を必須とし、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))																

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・兼任教員の就任辞退により、「文学」の配置を「教授1、兼任1」に変更、「ファーストイヤーゼミ」「言語アカデミック実践演習A」「言語アカデミック実践演習B」の(兼任△1)
- ・担当教員の校務都合により、「生命の科学」の担当者数変更(兼任1→兼任・兼務2)
- ・担当教員の都合により、「外国語(英語C)」「外国語(英語D)」の担当者数の変更(兼務4→兼務3)
- ・教育効果を高めるために、「社会関与プロジェクトA」をオムニバスに変更(非1→非2)
- ・教育効果を高めるために、「海外文化研修プログラムC」の開講時期変更
- ・開設年度は専任であり完成年度に兼務となる教員の担当授業科目について、令和6年度時点の配置状況に整理した(兼任・兼任→教授)
- 「文学」「歴史」「ファーストイヤーゼミ」「地球市民論」「グローバルエシックス」「グローバルヒストリー」「多元文化論A」「海外文化研修プログラムA」「海外文化研修プログラムB」「海外文化研修プログラムC」「国際キャリアデザインE」「国際教養研究基礎」「比較文学概論」「世界哲学史」「ヨーロッパ研究入門」「国際日本研究入門」

- (注) ・ 2(1) ①-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

科目 区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	学 科 共 通 科 目	学 科 共 通 専 門 科 目	ア ジ ア 専 門 科 目	東洋思想	2後		2			1					
				現代中国論	2前		2				1				
				植民帝国論	2後		2							1	
				多元文化論(アジア)A	3後		2							1	
				多元文化論(アジア)B	3後		2				1				
				多元文化論(アジア)C	3前		2				1				
				東洋文化論	3前		2		1						
				中国文学	3後		2			1					
			国 際 日 本 専 門 科 目	国際日本研究入門	1後		2			1					
				アジアの中の日本	2前		2			1					
				世界の中の日本	2後		2								1
				日本の歴史	2前		2								1
				現代日本論	2後		2								1
				比較日本文学	2前		2					1			
				Japanese Literature	2前		2			1					
				比較芸術論	2後		2			1					
				Minority Studies	3前		2			1					
				クロスカルチュラルスタディーズ	3後		2								1
				多元文化論(日本)A	3後		2						1		
				多元文化論(日本)B	3後		2								1
				多元文化論(日本)C	3前		2			1					
				多元文化論(日本)D	3後		2			1					
				Japanese Traditional Culture	3前		2								1
				Japanese Contemporary Culture	3後		2			1					
				Translation Studies	3後		2			1					
				日本語実践演習A	2後		2			1					
				日本語実践演習B	3前		2			1					
				演 習 国 際 教 養 科 目	国際教養研究A	3前	2				3	2	2		
			国際教養研究B		3後	2				3	2	2			3
			卒業研究A		4前	2				3	2	2			3
			卒業研究B		4後	2				3	2	2			3
			小計(83科目)						10	129	0	4	2	2	0
合計(211科目)					-	29	344	0	4	2	2	0	0	146	
卒業要件及び履修方法															
全学共通科目「人間論」2単位、教養教育科目「領域1～7」17単位、専門教育科目「学部共通科目」44単位(「学部共通基礎」28単位、「学部共通専門」16単位)、「学科共通科目」45単位(「学科共通基礎」7単位、学科共通専門38単位)を必須とし、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))															

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	197 科目	0 科目	218 科目	21 科目	197 科目	0 科目	218 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{218} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	65,407.76㎡	0㎡	0㎡	65,407.76㎡					
	運動場用地	44,454.00㎡	0㎡	0㎡	44,454.00㎡					
	小 計	109,861.76㎡	0㎡	0㎡	109,861.76㎡					
	そ の 他	8,177.24㎡	0㎡	0㎡	8,177.24㎡					
	合 計	118,039.00㎡	0㎡	0㎡	118,039.00㎡					
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
		75,404.34㎡ 73,386.62㎡ (73,386.62㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	75,404.34㎡ 73,386.62㎡ (73,386.62㎡)	一部附属施設の用途変更（講義室化）等に伴い校舎面積を修正（6）				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
		104室 103室	75室	102室	29室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 0人)	会議室の講義室化に伴う修正（6）			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		学部全体			
		外国語学部			28 室					
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル						
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点				
	外国語学部	465,700 [98,600] 458,100 [95,300] -(460,689 [97,584]) (455,215 [95,063])	2,640 [895] 2,560 [855] -(2,598 [879]) (2,544 [850])	40 [34] 38 [34] -(32 [29]) (35 [32])	21,000 19,000 -(20,548) (18,364)	6,560 6,481 (6,560)	287 262 (273)		申請時以降の取得処分による変更（6）	
		計	465,700 [98,600] 458,100 [95,300] -(460,689 [97,584]) (455,215 [95,063])	2,640 [895] 2,560 [855] -(2,598 [879]) (2,544 [850])	40 [34] 38 [34] -(32 [29]) (35 [32])	21,000 19,000 -(20,548) (18,364)	6,560 6,481 (6,560)		287 262 (273)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,071.40㎡		609席 604席		403,489冊				
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				申請時以降の増設（6）		
		5,052.14㎡		テニスコート6面、ゴルフ練習場20打席 テニスコート・フットサル共用コート1面						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。	
		教員 1 人当り研究費等	579千円	579千円	図書購入費	6,771千円	6,771千円	6,771千円		
	共同研究費等	2,142千円	2,142千円	設備購入費	23,755千円 30,462千円	36,812千円 30,462千円	30,462千円	実績値に基づき変更（6）		
		学生 1 人当り納付金	第 1 年次 1,289千円	第 2 年次 1,089千円	第 3 年次 1,089千円	第 4 年次 1,089千円	第 5 年次 千円		第 6 年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料収入、特別寄付金収入、国庫補助金収入、資産運用収入、雑収入等							届出学部全体

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学名	梶山女学園大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
生活科学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度		
管理栄養学科	4	120	-	480	学士(生活科学)	1.09	-	-	平成19	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	
生活環境デザイン学科	4	137	2年次2 3年次2	558	学士(生活科学)	1.05	-	-	平成15	同上	
国際コミュニケーション学部		0		670		0.74	-	-			
国際言語コミュニケーション学科	4	0	3年次10	365	学士(国際コミュニケーション)	0.80	-	-	平成15	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	令和6年度1年次学生募集停止
表現文化学科	4	0	3年次10	305	学士(国際コミュニケーション)	0.66	-	-	平成15	同上	令和6年度1年次学生募集停止
外国語学部		200		200		0.49	-	-			
英語英米学科	4	115		115	学士(英語英米学)	0.53	-	-	令和6	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	
国際教養学科	4	85		85	学士(国際教養学)	0.42	-	-	令和6	同上	
人間関係学部		200		846		0.79					
人間関係学科	4	0	3年次2	304	学士(人間関係学)	0.70		-	昭和62	愛知県名古屋市守山区山王下目2005番地	令和6年度1年次学生募集停止
心理学科	4	110	2年次2 3年次3	452	学士(心理学)	0.92		-	平成14	同上	
人間共生学科	4	90		90	学士(人間共生学)	0.44		-	令和6	同上	
文化情報学部		0		668		0.89	-				
文化情報学科	4	0	3年次2	364	学士(文化情報学)	0.83	-	-	平成12	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	令和6年度1年次学生募集停止
メディア情報学科	4	0	3年次2	304	学士(メディア情報学)	0.97	-	-	平成23	同上	令和6年度1年次学生募集停止
情報社会学部		220		220		0.60	-				
情報デザイン学科	4	100		100	学士(情報学)	0.76	-	-	令和6	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	
現代社会学科	4	120		120	学士(社会学)	0.47	-	-	令和6	同上	
現代マネジメント学部		190		730							
現代マネジメント学科	4	190		730	学士(マネジメント)	1.07	-	-	平成15	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	令和6年度入学定員変更(180名→190名)
教育学部		170		692							
子ども発達学科	4	170	2年次2 3年次3	692	学士(教育学)	0.99	-	-	平成19	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	
看護学部		110		410							
看護学科	4	110		410	学士(看護学)	1.12	-	-	平成22	愛知県名古屋市中区栄区が丘元町17番3号	令和6年度入学定員変更(100名→110名)
大学全体	4	1,347	2年次6 3年次34	5,474	-	0.92	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<外国語学部 国際教養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和6年度】			【令和7年度】			【令和8年度】			【令和9年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 任	教授	飯塚 恵理人 (62) <令和6年4月> 博士(文学)	専 任	教授	飯塚 恵理人 (62) <令和6年4月> 博士(文学)									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B 社会関与プロジェクトイギリス アジアの中の日本 多元文化論(日本) D 比較芸術論			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B 社会関与プロジェクトイギリス アジアの中の日本 多元文化論(日本) D 比較芸術論 文学									
専 任	教授	伊藤 信博 (68) <令和6年4月> 文学博士	専 任	教授	伊藤 信博 (68) <令和6年4月> 文学博士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B ファーストイヤーゼミ 国際日本研究入門 世界の中の日本 国際教養研究基礎 日本の歴史 歴史 国際キャリアデザインE			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B ファーストイヤーゼミ 国際日本研究入門 世界の中の日本 国際教養研究基礎 日本の歴史 歴史 国際キャリアデザインE									
兼任	客員教授	伊藤 信博 (70) <令和8年4月> 文学博士	兼任	客員教授	伊藤 信博 (68) <令和8年4月> 文学博士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B ファーストイヤーゼミ 国際日本研究入門 世界の中の日本 国際教養研究基礎 日本の歴史 歴史 国際キャリアデザインE			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B ファーストイヤーゼミ 国際日本研究入門 世界の中の日本 国際教養研究基礎 日本の歴史 歴史 国際キャリアデザインE									
専 任	教授	加藤 泰史 (67) <令和6年4月> 文学修士	専 任	教授	加藤 泰史 (67) <令和6年4月> 文学修士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス 世界哲学史 多元文化論(ヨーロッパ) A ドイツ語 I/II ドイツの思想と文学 現代思想論 地球市民論※			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス 世界哲学史 多元文化論(ヨーロッパ) A ドイツ語 I/II ドイツの思想と文学 現代思想論 地球市民論※									
兼任	客員教授	加藤 泰史 (70) <令和9年4月> 文学修士	兼任	客員教授	加藤 泰史 (67) <令和9年4月> 文学修士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス 世界哲学史 多元文化論(ヨーロッパ) A ドイツ語 I/II ドイツの思想と文学 現代思想論 地球市民論※			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス 世界哲学史 多元文化論(ヨーロッパ) A ドイツ語 I/II ドイツの思想と文学 現代思想論 地球市民論※									
専 任	教授	田所 光男 (67) <令和6年4月> 文学修士	専 任	教授	田所 光男 (67) <令和6年4月> 文学修士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 海外文化研修プログラムA 海外文化研修プログラムB 海外文化研修プログラムC 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス ヨーロッパ研究入門 比較文学概論 多元文化論(ヨーロッパ) B 世界の中のヨーロッパ 多元文化論 A			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 海外文化研修プログラムA 海外文化研修プログラムB 海外文化研修プログラムC 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス ヨーロッパ研究入門 比較文学概論 多元文化論(ヨーロッパ) B 世界の中のヨーロッパ 多元文化論 A									
兼任	客員教授	田所 光男 (70) <令和9年4月> 文学修士	兼任	客員教授	田所 光男 (67) <令和9年4月> 文学修士									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 海外文化研修プログラムA 海外文化研修プログラムB 海外文化研修プログラムC 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス ヨーロッパ研究入門 比較文学概論 多元文化論(ヨーロッパ) B 世界の中のヨーロッパ 多元文化論 A			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 海外文化研修プログラムA 海外文化研修プログラムB 海外文化研修プログラムC 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B グローバル・エシックス ヨーロッパ研究入門 比較文学概論 多元文化論(ヨーロッパ) B 世界の中のヨーロッパ 多元文化論 A									
専 任	教授	鄭 麗芸 (65) <令和6年4月> 博士(文学)	専 任	教授	鄭 麗芸 (65) <令和6年4月> 博士(文学)									
		国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B 東洋文化論 中国語 I B 中国語 I C 中国語 II A 中国語 II B 中国語 II C 中国語 III A 中国語 III B 人間論※			国際教養研究 A 国際教養研究 B 卒業研究 A 卒業研究 B 言語アカデミック実践演習 A 言語アカデミック実践演習 B 東洋文化論 中国語 I B 中国語 I C 中国語 II A 中国語 II B 中国語 II C 中国語 III A 中国語 III B 人間論※									
		堀田 あけみ (59) <令和6年4月> 教育学修士※			堀田 あけみ (59) <令和6年4月> 教育学修士※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	堀 江 里香 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	言語アカデミック実践演習A 言語アカデミック実践演習B 社会福祉プロジェクト ファーストイヤーゼミ
兼任	講師	山田 紀子 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼任	助教	富田 和子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（人間文化）	言語
兼任	講師	青山 愛 (61) ＜令和7年4月＞ 文学修士	中国語ⅠA 中国語ⅡA
兼任	講師	赤星 泰子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	イゴリ・サヴェリエフ (57) ＜令和7年4月＞ 学術博士	現代日本論
兼任	講師	石橋 康正 (39) ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	社会
兼任	講師	稲葉 直子 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（生活科学）	ビジネススキル入門※
兼任	講師	岩塚 さおり (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） M.A. in Literature（米国）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	浦野 愛 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（社会福祉学）	生活と防災※
兼任	講師	榎本 雅記 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	法
兼任	講師	太田 康子 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	フランス語ⅠB フランス語ⅡB
兼任	講師	岡田 公夫 (69) ＜令和6年4月＞ 高等専門学校卒業	生活と防災※
兼任	講師	奥田 智樹 (60) ＜令和6年4月＞ DEA（Diplôme d'études approfondies）	フランス語ⅠB フランス語ⅡB
兼任	講師	Oliver Bayerlein (64) ＜令和7年4月＞ 博士（Dr. phil.）	ドイツ語ⅡC Special Topics in German ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語ⅣA
兼任	講師	粕谷 英人 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	加藤 靖恵 (58) ＜令和6年4月＞ 博士	フランス語ⅠA フランス語ⅡA
兼任	講師	神谷 直希 (41) ＜令和6年4月＞ 博士（再生医学科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	唐澤 まどか (63) ＜令和6年4月＞ 短期大学士	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	柯 麗華 (57) ＜令和6年4月＞ 経営学博士	中国語ⅠC 資格中国語Ⅱ
兼任	講師	堀 江 里香 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	言語アカデミック実践演習A 言語アカデミック実践演習B 社会福祉プロジェクト ファーストイヤーゼミ
兼任	講師	山田 紀子 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼任	助教	富田 和子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（人間文化）	言語
兼任	講師	青山 愛 (61) ＜令和7年4月＞ 文学修士	中国語ⅠA 中国語ⅡA
兼任	講師	赤星 泰子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	イゴリ・サヴェリエフ (57) ＜令和7年4月＞ 学術博士	現代日本論
兼任	講師	石橋 康正 (39) ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	社会
兼任	講師	稲葉 直子 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（生活科学）	ビジネススキル入門※
兼任	講師	岩塚 さおり (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） M.A. in Literature（米国）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	浦野 愛 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（社会福祉学）	生活と防災※
兼任	講師	榎本 雅記 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	法
兼任	講師	太田 康子 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	フランス語ⅠB フランス語ⅡB
兼任	講師	岡田 公夫 (69) ＜令和6年4月＞ 高等専門学校卒業	生活と防災※
兼任	講師	奥田 智樹 (60) ＜令和6年4月＞ DEA（Diplôme d'études approfondies）	フランス語ⅠB フランス語ⅡB
兼任	講師	Oliver Bayerlein (64) ＜令和7年4月＞ 博士（Dr. phil.）	ドイツ語ⅡC Special Topics in German ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語ⅣA
兼任	講師	粕谷 英人 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	加藤 靖恵 (58) ＜令和6年4月＞ 博士	フランス語ⅠA フランス語ⅡA
兼任	講師	神谷 直希 (41) ＜令和6年4月＞ 博士（再生医学科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	唐澤 まどか (63) ＜令和6年4月＞ 短期大学士	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	柯 麗華 (57) ＜令和6年4月＞ 経営学博士	中国語ⅠC 資格中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	川瀬 基弘 (50) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	川瀬 基弘 (50) <令和6年4月> 博士(工学)									
		環境の科学			環境の科学									
兼任	講師	金 由那 (55) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	金 由那 (55) <令和6年4月> 博士(学術)									
		外国語(ハングルⅡ)			外国語(ハングルⅡ)									
兼任	講師	Greg Goodmacher (62) <令和6年4月> Master of Arts Degree - TESOL/TEFL												
		Communicative English 1D Communicative English 11D												
			兼任	講師	Philbrick Matthew Edward (30) <令和6年4月> TESOL Communicative English 1D Communicative English 11D									
兼任	講師	小久保 嘉紀 (45) <令和6年4月> 博士(歴史学)	兼任	講師	小久保 嘉紀 (45) <令和6年4月> 博士(歴史学)									
		歴史			歴史									
兼任	講師	小林 久見子 (58) <令和6年4月> Maîtrise(修士)	兼任	講師	小林 久見子 (58) <令和6年4月> Maîtrise(修士)									
		フランス語ⅠA フランス語ⅡA 資格フランス語Ⅱ フランス語ⅢB			フランス語ⅠA フランス語ⅡA 資格フランス語Ⅱ フランス語ⅢB									
兼任	講師	Colin Skeatesr (54) <令和6年4月> TESOL/TEFL (merit)	兼任	講師	Colin Skeatesr (54) <令和6年4月> TESOL/TEFL (merit)									
		Communicative English 1A Communicative English 1C Communicative English 11A Communicative English 11C			Communicative English 1A Communicative English 1C Communicative English 11A Communicative English 11C									
			兼任	講師	師 もえ (46) <令和6年4月> 医学博士 生命の科学									
兼任	講師	櫻井 典子 (40) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	櫻井 典子 (40) <令和6年4月> 文学修士									
		中国語ⅠA 中国語ⅡA 資格中国語Ⅲ 中国語ⅢA			中国語ⅠA 中国語ⅡA 資格中国語Ⅲ 中国語ⅢA									
兼任	講師	Jason Emde (52) <令和6年4月> Master of Fine Arts	兼任	講師	Jason Emde (52) <令和6年4月> Master of Fine Arts									
		Communicative English 1A Communicative English 1B Communicative English 11A Communicative English 11B			Communicative English 1A Communicative English 1B Communicative English 11A Communicative English 11B									
兼任	講師	Jason Pestano (44) <令和6年4月> Master of Education (TESOL)	兼任	講師	Jason Pestano (44) <令和6年4月> Master of Education (TESOL)									
		Communicative English 1E Communicative English 11E			Communicative English 1E Communicative English 11E									
兼任	講師	重松 由美 (55) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	重松 由美 (55) <令和6年4月> 博士(文学)									
		外国語(ポルトガル語Ⅰ) 外国語(ポルトガル語Ⅱ)			外国語(ポルトガル語Ⅰ) 外国語(ポルトガル語Ⅱ)									
兼任	講師	徐 春陽 (58) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	徐 春陽 (58) <令和6年4月> 博士(学術)									
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡC 中国語ⅢB 中国語コミュニケーションⅡ 中国語ⅣB 外国語(中国語Ⅰ) 外国語(中国語Ⅱ)			中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡC 中国語ⅢB 中国語コミュニケーションⅡ 中国語ⅣB 外国語(中国語Ⅰ) 外国語(中国語Ⅱ)									
兼任	講師	CHOTIN FABRICE ROBERT (59) <令和6年4月> DEA(言語学、言語教育学)	兼任	講師	CHOTIN FABRICE ROBERT (59) <令和6年4月> DEA(言語学、言語教育学)									
		外国語(フランス語Ⅰ) 外国語(フランス語Ⅱ) フランス語ⅠC フランス語ⅡC フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語ⅢC フランス語ⅣA			外国語(フランス語Ⅰ) 外国語(フランス語Ⅱ) フランス語ⅠC フランス語ⅡC フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語ⅢC フランス語ⅣA									
兼任	講師	杉谷 健一郎 (61) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	講師	杉谷 健一郎 (61) <令和6年4月> 博士(理学)									
		物理の世界 地球の科学			物理の世界 地球の科学									
兼任	講師	鈴木 仁子 (67) <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	鈴木 仁子 (67) <令和6年4月> 文学士									
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅢA			ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅢA									
兼任	講師	高畑 祐人 (64) <令和8年4月> 文学修士	兼任	講師	高畑 祐人 (62) <令和8年4月> 文学修士									
		資格ドイツ語Ⅲ			資格ドイツ語Ⅲ									
兼任	講師	瀧崎 優佳 (57) <令和6年4月> 準学士	兼任	講師	瀧崎 優佳 (57) <令和6年4月> 準学士									
		ワークキャリアデザイン			ワークキャリアデザイン									
兼任	講師	滝谷 英幸 (43) <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	滝谷 英幸 (43) <令和6年4月> 博士(法学)									
		法			法									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田所 沙矢・加代 (60) <令和6年4月> Licence (学士)	兼任	講師	田所 沙矢・加代 (60) <令和6年4月> Licence (学士)									
		フランス語ⅠB フランス語ⅠC フランス語ⅡB フランス語ⅡC 資格フランス語Ⅲ Special Topics in French フランス語コミュニケーションⅠ			フランス語ⅠB フランス語ⅠC フランス語ⅡB フランス語ⅡC 資格フランス語Ⅲ Special Topics in French フランス語コミュニケーションⅠ									
兼任	講師	Daniel Paller (42) <令和6年4月> Master of Arts (TESOL)	兼任	講師	Daniel Paller (42) <令和6年4月> Master of Arts (TESOL)									
		Communicative English IE Communicative English IIE			Communicative English IE Communicative English IIE									
兼任	講師	玉木 満 (53) <令和6年4月> 法学修士												
		日本国憲法												
			兼任	講師	鈴木 晃 (69) <令和6年4月> 法学修士									
					日本国憲法									
兼任	講師	張 素芳 (59) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	張 素芳 (59) <令和6年4月> 修士(文学)									
		中国語ⅠB 中国語ⅠC 中国語ⅡB 中国語ⅡC 資格中国語Ⅰ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語ⅢC			中国語ⅠB 中国語ⅠC 中国語ⅡB 中国語ⅡC 資格中国語Ⅰ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語ⅢC									
兼任	講師	塚原 利理 (66) <令和6年4月> 修士(教育)	兼任	講師	塚原 利理 (66) <令和6年4月> 修士(教育)									
		教育			教育									
兼任	講師	椿 達太 (47) <令和6年4月> 修士(工学)	兼任	講師	椿 達太 (47) <令和6年4月> 修士(工学)									
		物理の世界			物理の世界									
兼任	講師	坪木 和久 (61) <令和6年4月> 理学博士	兼任	講師	坪木 和久 (61) <令和6年4月> 理学博士									
		生活と防災※			生活と防災※									
兼任	講師	鶴巻 泉子 (57) <令和7年4月> DEA (Diplôme d'études approfondies)	兼任	講師	鶴巻 泉子 (56) <令和7年4月> DEA (Diplôme d'études approfondies)									
		現代ヨーロッパ社会論			現代ヨーロッパ社会論									
兼任	講師	程 群 (52) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	程 群 (52) <令和6年4月> 博士(学術)									
		中国語ⅠB 中国語ⅠC 中国語ⅡB 中国語ⅡC 中国語コミュニケーションⅠ			中国語ⅠB 中国語ⅠC 中国語ⅡB 中国語ⅡC 中国語コミュニケーションⅠ									
兼任	講師	洞谷 吉浩 (54) <令和6年4月> 芸術修士号	兼任	講師	洞谷 吉浩 (54) <令和6年4月> 芸術修士号									
		芸術			芸術									
兼任	講師	Donovan Clarke (61) <令和6年4月> Juris Doctor (JD) and Master of Law	兼任	講師	Donovan Clarke (61) <令和6年4月> Juris Doctor (JD) and Master of Law									
		Communicative English IA Communicative English IIA			Communicative English IA Communicative English IIA									
兼任	講師	中川 紗佑里 (35) <令和6年4月> MA in Promotional Media	兼任	講師	中川 紗佑里 (35) <令和6年4月> MA in Promotional Media									
		国際キャリアデザインG			国際キャリアデザインG									
兼任	講師	長澤 麻央 (36) <令和6年4月> 博士(農学)	兼任	講師	長澤 麻央 (36) <令和6年4月> 博士(農学)									
		化学の世界			化学の世界									
兼任	講師	中島 潤 (51) <令和6年4月> 博士												
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB 資格フランス語Ⅰ												
			兼任	講師	Vurpillot Xavier Paul Henri (37) <令和6年4月> 言語学修士									
					フランス語ⅠA フランス語ⅡA									
			兼任	講師	長瀬 幸一 (54) <令和6年9月> 言語学修士									
					フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 資格フランス語Ⅰ									
兼任	講師	永峰 康一郎 (60) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	講師	永峰 康一郎 (60) <令和6年4月> 博士(理学)									
		地球の科学			地球の科学									
兼任	講師	中村 真奈美 (67) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	中村 真奈美 (67) <令和6年4月> 文学修士									
		外国語(ドイツ語Ⅰ) 外国語(ドイツ語Ⅱ) ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA 資格ドイツ語Ⅰ 資格ドイツ語Ⅱ			外国語(ドイツ語Ⅰ) 外国語(ドイツ語Ⅱ) ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA 資格ドイツ語Ⅰ 資格ドイツ語Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	夏目 晶子 (55) <令和6年4月> 法学博士	兼任	講師	夏目 晶子 (55) <令和6年4月> 法学博士									
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 資格中国語Ⅰ 中国語ⅢB 中国語ⅢC 外国語(中国語Ⅰ) 外国語(中国語Ⅱ)			中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 資格中国語Ⅰ 中国語ⅢB 中国語ⅢC 外国語(中国語Ⅰ) 外国語(中国語Ⅱ)									
兼任	講師	Nicola Hannah (57) <令和6年4月> MA Applied Linguistics & TESOL	兼任	講師	Nicola Hannah (57) <令和6年4月> MA Applied Linguistics & TESOL									
		Communicative English IA Communicative English IIA			Communicative English IA Communicative English IIA									
兼任	講師	西川 千雅 (56) <令和8年4月> 修士(国際リテラシー教育科学)	兼任	講師	西川 千雅 (54) <令和8年4月> 修士(国際リテラシー教育科学)									
		Japanese Traditional Culture			Japanese Traditional Culture									
兼任	講師	二文字 展 脩 (38) <令和6年4月> 博士(社会人類学)	兼任	講師	二文字 展 脩 (38) <令和6年4月> 博士(社会人類学)									
		人類学			人類学									
			兼任	講師	植戸 育典 (38) <令和6年4月> 博士(医学)									
					人類学									
兼任	講師	橋本 亜季 (39) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	橋本 亜季 (39) <令和6年4月> 修士(文学)									
		ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB			ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB									
兼任	講師	長谷部 浩一 (62) <令和7年4月> 教育学士	兼任	講師	長谷部 浩一 (62) <令和7年4月> 教育学士									
		ビジネススキル入門※			ビジネススキル入門※									
兼任	講師	栗野 康子 (66) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	栗野 康子 (66) <令和6年4月> 修士(文学)									
		外国語(英語A) 外国語(英語B) 外国語(英語C) 外国語(英語D)			外国語(英語A) 外国語(英語B) 外国語(英語C) 外国語(英語D)									
兼任	講師	原 大介 (59) <令和7年4月> Ph. D.	兼任	講師	原 大介 (58) <令和7年4月> Ph. D.									
		日本語Ⅰ※ 日本語Ⅱ※			日本語Ⅰ※ 日本語Ⅱ※									
兼任	講師	韓 銀暎 (44) <令和6年4月> 修士(国際コミュニケーション)	兼任	講師	韓 銀暎 (44) <令和6年4月> 修士(国際コミュニケーション)									
		外国語(ハングルⅠ)			外国語(ハングルⅠ)									
兼任	講師	平山 修久 (53) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	平山 修久 (53) <令和6年4月> 博士(工学)									
		生活と防災※			生活と防災※									
兼任	講師	福士 洋子 (63) <令和6年4月> カリフォルニア州立大学修了	兼任	講師	福士 洋子 (63) <令和6年4月> カリフォルニア州立大学修了									
		TOEIC 500 Ⅰ TOEIC 500 Ⅱ			TOEIC 500 Ⅰ TOEIC 500 Ⅱ									
兼任	講師	福和 伸夫 (67) <令和6年4月> 工学博士	兼任	講師	福和 伸夫 (67) <令和6年4月> 工学博士									
		生活と防災※			生活と防災※									
兼任	講師	Brian McNeill (64) <令和6年4月> Ph. D. Applied English Linguistics	兼任	講師	Brian McNeill (64) <令和6年4月> Ph. D. Applied English Linguistics									
		Advanced English A Advanced English B Advanced English C Advanced English D Communicative English IC Communicative English IIC			Advanced English A Advanced English B Advanced English C Advanced English D Communicative English IC Communicative English IIC									
兼任	講師	Paul Rumme (68) <令和6年4月> Master of Science	兼任	講師	Paul Rumme (68) <令和6年4月> Master of Science									
		Communicative English IB Communicative English IC Communicative English ID Communicative English IE Communicative English IIB Communicative English IIC Communicative English IID Communicative English IIE TOEFL iBT Ⅰ TOEFL iBT Ⅱ ドイツ語ⅠC			Communicative English IB Communicative English IC Communicative English ID Communicative English IE Communicative English IIB Communicative English IIC Communicative English IID Communicative English IIE TOEFL iBT Ⅰ TOEFL iBT Ⅱ ドイツ語ⅠC									
兼任	講師	Marcel Eikermann (39) <令和6年4月> 修士	兼任	講師	Marcel Eikermann (39) <令和6年4月> 修士									
		ドイツ語ⅠC ドイツ語ⅡC ドイツ語ⅢC			ドイツ語ⅠC ドイツ語ⅡC ドイツ語ⅢC									
兼任	講師	前田 郁 (47) <令和6年4月> 修士(言語教育学)	兼任	講師	前田 郁 (47) <令和6年4月> 修士(言語教育学)									
		TOEIC 700 Ⅰ TOEIC 700 Ⅱ			TOEIC 700 Ⅰ TOEIC 700 Ⅱ									
兼任	講師	正門 律子 (48) <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	正門 律子 (48) <令和6年4月> 学士(文学)									
		社会関与プロジェクトA			社会関与プロジェクトA※									
			兼任	講師	伊藤 典子 (68) <令和8年4月> 学士(社会学)									
					社会関与プロジェクトA※									

(注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(通年情報については、各年度時点の情報として記入してください。)

・「専任申請書又は設置図書書の様式第3号(その2)」の1に準じて作成してください。

・各書の方法は「大学の設置等に関する図書作成の手順」の「氏名欄」を確認してください。

・「認可又は承認申請書」(第1号)は、承認申請書と併せて提出してください。

その上で、各年度については、**認可申請書又は設置図書書に変更となっている期間はその年次の事務として記入してください。**

・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。

・専任(専任准大等)専任、実務、実(研)、実(計)、実(産)、兼任の順に記入してください。

・不採算年度(前年度から4年前間まで)は変更前3年以前に就いた表を記載してください。

・採算年度の改正により、新旧カリキュラム(旧カリキュラム)と新カリキュラム(新カリキュラム)の両方の氏名(旧氏名)の上部に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の採算年度を記入すると、下部に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の採算年度が記入される。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ DiCello Cheryl 准教授の就任辞退により、同氏の担当予定科目を後任として就任する Hanson Lynn Sara 准教授が担当。
- ・ 担当者変更により、「人間論」小松美沙（兼担）から石原由華（兼担）へ変更
- ・ 担当者就任辞退（Greg Goodmacher（兼務））により、「Communicative English ID」「Communicative English IID」を Philbrick Matthew Edward（兼務）へ変更、次年度以降開講科目は後任調整中
- ・ 担当者変更により、「人類学」五百部裕（兼担）から橋戸南美（兼任）へ変更
- ・ 担当者変更により、「生命の科学」五百部裕（兼担）から福田誠司（兼担）、郷もえ（兼任）
- ・ 教育効果を高めるため、「社会関与プロジェクトA」オムニバス科目に変更し、担当者追加（伊藤典子（兼務））
- ・ 担当者変更により、「ジェンダー論入門」山口佐和子（兼務）から天野諭（兼務）へ変更
- ・ 担当者変更により、「コンピュータと情報Ⅰ」唐澤まどか（兼務）から楓森博（兼務）へ変更
- ・ 担当者変更により、「日本国憲法」玉木満（兼務）から鈴木晃（兼務）へ変更
- ・ 担当者変更により、「フランス語ⅠB」「フランス語ⅡB」「資格フランス語Ⅰ」を中島潤（兼務）から長沼圭一（兼務）へ変更
- ・ 担当者変更により、「フランス語ⅠA」「フランス語ⅡA」を中島潤（兼務）から Vurpillot Xavier Paul Henri（兼務）へ変更
- ・ 赤星泰子（兼務）の担当科目を「外国語（英語A）」「外国語（英語B）」に変更（2科目減）

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **課内で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	0	8	0	7	2	2	0	11	0
(7)	(2)	(2)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	2	2	0	8	0	4	2	2	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1							該当なし				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
							該当なし						
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

 相山女学園大学全学FD委員会（標準添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

 <令和5年度>

 第1回：令和5年4月25日（火）、出席委員8名

 第2回：令和5年5月23日（火）、出席委員8名

 第3回：令和5年6月27日（火）～7月3日（月）メール会議、出席委員8名

 第4回：令和5年7月25日（火）、出席委員6名

 第5回：令和5年9月26日（火）、出席委員6名

 第6回：令和5年10月24日（火）メール会議、出席委員7名、代理出席1名

 第7回：令和5年11月28日（火）、出席委員7名、代理出席1名

 第8回：令和6年1月23日（火）～1月30日（火）メール会議、出席委員8名

 第9回：令和6年3月22日（金）メール会議、出席委員8名

 <令和6年度>

 第1回：令和6年4月23日（火）、出席委員7名

c 委員会の審議事項等

 <令和5年度（審議事項のみ抜粋）>

 第1回：(1) 2023年度FD活動に関する件

 (2) 2023年度前期学生FDスタッフ申請に関する件

 (3) 相山女学園大学全学FD委員会規程の一部改正に関する件

 第2回：(1) 2023年度後期学生FDスタッフ募集要項に関する件

 第3回：(1) 2023年度FD研修会に関する件

 (2) 2023年度前期授業アンケートリフレクションに関する件

 第4回：(1) 2023年度後期学生FDスタッフ申請に関する件

 (2) 2023年度FD事業推進予算に関する件

 (3) 2023年度後期授業アンケート実施要領等に関する件

 第5回：(1) 2024年度シラバス項目に関する件

 (2) 2024年度FD事業推進予算に関する件

 第6回：（報告事項のみ）

 第7回：(1) 2023年度後期授業アンケートリフレクションに関する件

 (2) 2023年度「今年度の振り返り」と「来年度の目標」に関する件

 (3) 2023年度FD活動報告書に関する件

 第8回：(1) 2023年度FD活動の検証と2024年度の計画に関する件

 (2) 2024年度前期学生FDスタッフ募集に関する件

 第9回：（報告事項のみ）

 <令和6年度>

 第1回：(1) 2024年度FD活動に関する件

 (2) 2024年度前期学生FDスタッフ申請に関する件

② 実施状況（令和5年度）

 ○専任教員の自己点検

 a 実施内容：令和5年12月12日（火）～令和6年3月18日（月）

 教員各自が自身の教育・研究活動について振り返り、次年度の目標を設定する。

 b 実施方法：Web入力し、公開可の教員の内容は学内公開

 c 実施状況（教員の参加状況含む）：教員118名

 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

 お互いの教員の活動状況を共有することで、各教員の持つ「教育」「研究」の専門性や特徴を再発見する資料とした。

○新任教員研修（学内）

- a 実施内容：令和5年4月
- b 実施方法：学部ごとに策定された新任教員研修プログラムにより実施
- c 実施状況（教員の参加状況含む）：17名（助手を含む。）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：
各学部学科の教育理念・特色、3つのポリシー、カリキュラム、学術研究倫理憲章等について説明した。

○新任教員研修（学外）

- a 実施内容：令和5年9月13日（水）13:30～15:30
公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「FD合同研修プログラム・テーマ別研修」に参加
- b 実施方法：Zoomでのオンライン開催
- c 開催状況（教員の参加状況含む）：人間関係学部講師1名、現代マネジメント学部講師1名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：
参加教員は報告書を作成し、各人の授業改善に活かした。

○FD研修会①

- a 実施内容：
 - ・日時：令和5年9月5日（火）10:00～11:00
 - ・テーマ：「学修成果の可視化に向けたGPS-Academic（GPSアカデミック）の活用方法について～前期の結果分析～」
 - ・講師：株式会社ベネッセキャリア 大社接統事業本部 大社接統営業部西日本加サマサ課 課長 上村明子氏
- b 実施方法：Zoomでのオンライン開催
- c 開催状況（教員の参加状況含む）：237名（オンライン視聴を含む。）（教員172名、助手22名、事務職員等43名）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：
GPS-Academicをどのように学修成果の可視化に活用するか、ディプロマ・ポリシーとの関連性を含めて説明し、教員の意識を高めた。

○FD研修会②

- a 実施内容：
 - ・日時：令和6年1月9日（火）12:30～13:10
 - ・テーマ：「学修成果の可視化に向けたポートフォリオシステムの教員向け説明会」
 - ・講師：株式会社SIGEL 代表取締役 鈴鹿健治氏
- b 実施方法：Zoomウェビナーでのオンライン開催
- c 開催状況（教員の参加状況含む）：156名（オンライン視聴を含む。）（教員138名、事務職員等18名）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：
本学における学修成果の可視化の方策と、令和6年度から本格導入するポートフォリオ機能を備えた学修成果可視化システムについて説明し、教員にその意義を意識づけた。

○学生FDスタッフの活用

- a 実施内容：授業へのアクティブ・ラーニング導入を支援するため、アクティブ・ラーニングを用いた授業を実施するための学生補助が必要な際の予算を措置した。
- b 実施方法：令和5年度授業科目内で、学生FDスタッフが授業補助
- c 実施状況：前期1件（生活科学部学生1名）、後期3件（生活科学部学生のべ27名）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：
アクティブラーニングやICT活用による授業改善、質の向上に取り組んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ＜前期＞実施期間：（1/4期科目）令和5年5月29日（月）～令和5年6月9日（金）
（半期科目）令和5年7月10日（月）～令和5年8月3日（木）
実施科目数：662科目
 - ＜後期＞実施期間：（1/4期科目）令和5年11月9日（木）～令和5年11月20日（月）
（半期科目）令和5年12月21日（木）～令和6年1月26日（金）
実施科目数：590科目
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・結果の概要については、大学ホームページで公開
 - ・授業科目ごとの結果と、結果に対するリフレクション（教員コメント）は、学内教務システムで公開

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 外国語学部国際教養学科は、英語に加えてフランス語、ドイツ語又は中国語の実践的運用力を身につけ、ヨーロッパ、アジアの各地域及びグローバル社会の広範な知識を有し、国際社会に共通する課題に取り組む地球市民の育成を学位授与の方針とし、この目的を学修の中で実質化するために準備したカリキュラムにより、新しい価値創造に寄与できる力を備えることを目的としている。 この目的を実現するために、予定していた授業科目を確実に適正な規模で開講することができている。 初年次においては、学部の基幹科目「地球市民論」、国際教養学科の基幹科目「国際教養基礎研究」、コースの基幹科目などにより、学部・学科・コースそれぞれの学問的土台を形成するとともに、外国語運用能力を育成し、2年次以降に発展的に学修を進めるための基礎固めと学修意欲の向上を図っている。 また、外国語学部では、1人の学生に対して、日本人の学修・生活指導教員と外国人の副指導教員が連携して指導にあたる体制を取っている。指導教員は、主に学修成果可視化による情報に基づき、1年次においては学修・生活指導教員が、「ファーストイヤー・ゼミ」の時間において前期において1回の面談を実施し、DP達成に向けた段階的な指導を行い、副指導教員は、特に外国語の学修面のアドバイスをし、学生の学びの支援を行っていく。 今後も本学部学科の目的を実現するため、学年進行に従い、教学マネジメントの方向性を再確認し、本学部学科の取り組みの良さと課題を相対的に捉え直し、不断の改善を図りつつ、設置計画を確実に履行していくこととする。
② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 2020年度の公益財団法人大学基準協会による認証評価（大学評価）を受審し、適合の認定を受けた。今後は、改組学部学科の活動も含めて、毎年度の活動を点検・評価し、点検・評価報告書により公表している。 最新内容は（2023年度 点検・評価報告書（大学年報－第25号）令和6年3月公表） b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開（https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/about/valuation/index.html）
③ 認証評価を受ける計画 （専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。） 内部質保証組織のシステムを整え、第4期の認証評価に向けて2027年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度） a 公表予定の有無 [有] ≪aで「有」の場合≫ b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内] c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載] ≪aで公表「無」の場合≫ d 公表しない理由 [-]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

椋山女学園大学全学FD委員会規準

平成12年大規準第4号
平成12年5月16日制定

(趣旨)

第1条 この規準は、椋山女学園大学におけるファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development)に関する事項を円滑かつ有効に推進するために設置する全学FD委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、前条の趣旨を実現するため、ファカルティ・ディベロップメントに関する次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 企画・立案に関する事項
- (2) 必要な研究調査に関する事項
- (3) 学部間の連繋及び調整に関する事項
- (4) 研究会、講演会及び教員研修等に関する事項
- (5) 大学間の連携等に関する事項
- (6) その他、学長が特に必要と認める事項

(委員会)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学長が指名する学長補佐
 - (2) 各学部のFD委員会の委員 各1名
- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認める者を、委員に加えることができる。
- 3 第1項第2号及び前項の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。
- 4 第1項第2号の委員に欠員が生じた場合には、その都度委員を補充しなければならない。この場合において、補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員会に、委員長を置き、委員長は学長補佐をもって充てる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

- 2 会議は、各学部1名以上の委員を含む委員の過半数の出席により成立する。
- 3 会議には、議長が必要と認めた場合、委員以外の者を陪席させることができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、教務課において処理する。

(学部委員会)

第6条 各学部に学部FD委員会を設置するものとする。

- 2 前項の学部FD委員会の構成、委員長の選任方法及び委員の任期については、当該学部の教授会において定める。

(規準の改廃)

第7条 この規準の改廃は、委員会が発議し、大学協議会の議を経て学長が決する。

附 則

この規準は、平成12年5月16日から施行する。

附 則(平成19年大規準第8号)

この規準は、平成19年9月1日から施行する。

附 則(平成21年大規準第4号)

この規準は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年大規準第9号)

この規準は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(令和5年大規準第6号)

- 1 この規準は、令和5年5月16日から施行する。
- 2 この規準の施行の際現に委員である者の任期は、令和6年3月31日までとし、再任を妨げない。